



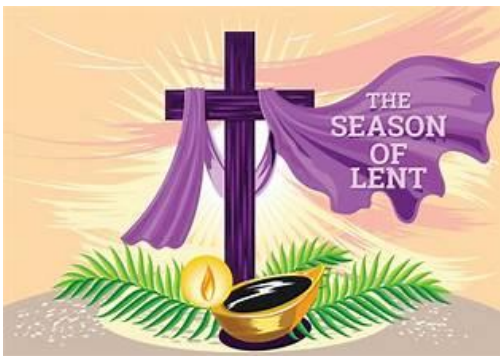
E-Mail:taniyama-cc@Lagoonne.jp URL:<https://catholic-tc.jp>

発行人：盛 克志神父 編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美



## 荒れ野を通して

カトリック谷山教会 主任司祭 盛 克志



春の訪れと、主の復活を待ち望んでいる私たちは、2月14日「灰の水曜日」より40日間という荒れ野の旅を続けています。今、私たちは「四旬節」の只中にいます。今年の復活祭は3月31日、前晚には復活徹夜祭が待っています。

「40」という数字は聖書では象徴的な数字で、特別な準備期間を指す言葉です。地に悪が満ち溢れた時に、神さまは40日間、雨を降り注ぎノア一家によって新たな歩みを人類にさせようとされました。また、十戒を与えるためにモーセは40日間、シナイ山に留まりました。預言者エリヤも神の山ホレブを目指して40日間、歩き続けました。ヨナは二ネベの人たちに40日以内に回心しなければ町が滅ぶと預言しています。イスラエルの民がエジプトの奴隷状態から解放され、約束の地に入るまでの40年間の荒れ野の旅も思い出されます。イエスは、公生活に入る前に40日間荒れ野で過ごし、断食しています。そして、復活されたイエスが弟子たちに「神の国」について語られたのも40日でした。私たちに与えられた2024年の40日間も、大切に用いていきたいものです。

教会は伝統的に四旬節には「祈り、節制、愛の業」が奨励されてきていますが、何にもまして、自分と神さまとの関わりをもう一度、見つめ直す時です。

ある意味で、自分を「荒れ野」に置いてみることです。そこから、もう一度、神さまとのつながり、人とのつながりを見つめなおしてみるのです。

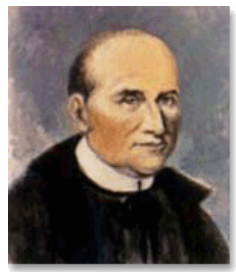
信仰は人間の力で作られるものではなくて、神さまから頂くものです。ですから、まず、信仰を深めてくださるように神さまの恵みを願いましょう。

今年の四旬節が神さまの大きな愛の中で自分を見つめ直し、神さまに心を向ける日々でありますように。

「四旬節は、他者の人生と自分の人生にある苦しみを見つめるときです。犠牲の価値を見直すときです。本当の愛があるならば、そこには犠牲があるからです。あなたたち、とくに病気で苦しんでいる共労者たちは、もし痛みが伴うとしても、満面の笑みを浮かべながら、神がしてくださるものは何でも受けとり、神が取りされるものは何でも差し出すということを学ぶことができるでしょう。」 (マザー・テレサ)

# 今月の聖人から

1734～1820



レデンプトール会聖人  
クレメンス・マリア・  
ホフバウアー

3月15日 記念日

聖クレメンスは、1751年チエコスロバキアのタスヴィッツで生まれた。6歳の時父を亡くし、信仰深い母のもと司祭を夢みたが貧しきのため断念しパン屋の職人となった。しかし司祭への道を断念できず紆余曲折の末、29歳の時ウィーン大学で神学の勉強を始める事が出来た。しかし啓蒙思想の影響の強い大学の神学が意にそわず、アルフォンソの倫理進学に感銘をうけ、レデンプトール会に移り、33歳で司祭に叙階。創立間もない修道会をアルプスを越えた地域に広める任務を得て、1787年ポーランドのワルシャワに孤児院を開設。子女教育、人々の霊的向上に精力を尽くした。ナポレオンに追放されウィーンにもどつてからも多くの人々にカトリック信仰の火を強く再燃させ「ウィーンの使徒」と称され、**信仰の強さは「樅の木の人」と呼ばれた。**彼によりレデンプトール会は全世界へと拡がっていった。(レデンプトール修道会・聖人と福者より)

いろいろあったのですね。パン屋さんの職人になったり、神学校を変えたり、ナポレオンに追放されたり、それでもめげなかった。

# 3月19日 聖ヨセフ 祭日

1世紀

(この日が日曜日や、聖週間にあたる場合は、移動されます。)



新約聖書に記されているように「正しい人」であり、結婚する前にマリアが身ごもっていることを知ると、それを表ざたにすることなく、縁を切ろうとした。しかし夢に現われた天使が、マリアを妻として迎え入れ、マリアの産む子をイエスと名付けるようにとヨセフに告げたので、イエスの養父としての使命を担った(参照 マタイ1・18～24)。

ヘロデ王が幼な子イエスを殺そうとしている計画を夢で知らされると、マリアとイエスを連れてエジプトに避難し(参照マタイ2・13～15)、またイエスを神殿に奉獻するためにエルサレムに行き(ルカ2・22～38)、イエスが12歳のときに、エルサレムからの帰路でイエスを見失ったときは、マリアとともに心配した。彼はガリラヤのナザレで、大工生活を営みながらイエスに労働の大切さを教えた。ヨセフは、イエスが30歳になる前に亡

くなったといわれている。養父としてのヨセフは、中世の教会に大きな影響を与え、多くの聖人たちの生き方に示唆を与えた。

彼は、キリストとマリアを守ったことから、教会の特別な保護者とされている。(聖女子パウロ修道会)

# 復活祭 3月31日 祭日



復活の主日から聖霊降臨の主日にかかるまでの50日間、復活祭と呼ばれ、主日も復活節第1、2主日

と呼ばれています。この期間は、新しい信徒の実践的な教育のためにあてられています。復活節40日目には、主の昇天を祝います。主の昇天後から聖霊降臨の前日の土曜日までの週日は、聖霊を迎えるための準備をするときとなります。(聖パウロ女子修道会)

# フオコラーレのいのちの言葉の集い



写真提供・平田龍二

フオコラーレはイタリア語で暖炉を意味します。谷山教会では暖かい雰囲気の中で、皆が一つになるように、毎月第二日曜日の、いのちの言葉の分かち合いをしています。どのよう

に生きていたら良いか、具体的に学び、体験を分かち合っています。先月長崎からフオコラーレを招き、有意義な時を過ごしました。どなたでも参加できますので、どうぞいらして下さい。お待ちしています。  
\*三月第一日曜日(3月3日)は、午後2時からとなっています。 直 泰江

# レデンプトール修道会

アシジのフランシスコ

下瀬 智久神父

谷山教会で初ミサ

2月4日(日)

山口県出身

今後は大阪の吹田教会で司牧にあたる。



写真提供・平田龍二

2023年3月21日 東京カテドラル大聖堂で司祭叙階された。司祭になったきっかけは、たまたま出かけた山口県の山の上にある小さな教会のかわいい神父様に出会ったからだそうです。



茶話会の様子

## 十 主の平安

**谷** 山教会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今月は三月「弥生」ですが、弥生の「弥」は次第にという意味で、弥生の「生」は草木が芽吹くことを意味しているそうです。ですから草木が次第に芽吹く時期をさすということになります。久しぶりに午前中に園児と一緒に近くの畦道を歩いたのですが、菜の花や、レンゲ、タンポポ、そして土筆が結構伸びてきていました。いつの間にか春を感じることができました。花々の周りにミツバチが飛んで、思わず「はちみつ食べたいなあ」と思ってしまいました。それと「桃の節句」もありますね。雛人形を飾る習慣がありますが、もともとは人々の厄を払うためのものだったらしいです。

主イエスも私たちの罪や穢れを引き受けて十字架に架けられて死にましたが、また復活して私たちを新しく生きるものとしてくださいました。まさに弥生ですね。今年は3月の終わりに「主のご復活」を迎えるのですが、その頃には百合の花も咲くのでしょうか。残りの四旬節を確りと過ごし、自分の信仰を新たに見つめ直してゆきたいものです。

ヤコブ・福崎英雄神父



## 山と信仰 (1)

## 山との出会い

9班 古木圭介

高校 2 年の冬休み、私は山岳部の友人・和田紘一郎君と二人で冬の屋久島登山に出かけました。昭和 35 年の冬の事です。

当時の屋久島には大型船の着く港はなく、舢(はしけ)で上陸するという荒れた海では危険なものでした。安房の港から山へは歩くしかありませんでした。二人は一週間分の食糧や装備を担ぎ山中に分け入って行きました。標高1620mに建つ小さな避難小屋をベースキャンプにして最高峰を目指す予定でした。

しかし 12 月 30 日から予想以上の大雪になり、翌日も降り続きついに積雪は1m以上になってしまいました。過去経験したことない大雪です。

元旦に意を決して下山することにしましたが、大雪は腰までつき、交互にラッセルしながら道なき道を歩き続けること 13 時間。

幸い雪は止んでいましたが、深い雪のため遅々として進めず夕暮れを迎えてしまいました。推測でわずか3Kmほどしか進んでいませんでした。

雪洞を掘り、石油コンロで雪を溶かし暖かい食事で一息つきましたが、あまり不安は感じていませんでした。翌日も深い雪に悩まされながら勘を頼りに下山を続け、薄暗くなるころやっと トロッコ道にたどり着き、そこからは小杉谷の分校まで順調に歩くことができました。親も学校も異常気象の大雪に大騒ぎだったようです。

しかし、私たちの恩師で山岳部の部長であった岩井正二先生は緊急職員会議の席で「和田と古木なら大丈夫だ」と言って下さったと後で聴きました。

それから数十年の歳月が流れ、岩井先生には谷山教会のミサでお会いすることがありました。先生の葬儀は

谷山教会で行われ、和田君も急遽、東京から参列してくれました。その和田君もその後、間もなく他界してしまいました。私のライフワークは中学時代に会った「山登り」です。岩井先生と言う厳しくも愛情のある指導者に恵まれ、山で死なないための訓練を受けました。



### 高校時代、恩師・岩井正二先生と

岡山国体での山岳競技に選手として参加。  
岩井先生は監督  
昭和37年(1962年)10月



本格的な山登りに熱中し始めた大学の山岳部時代。  
厳冬期の北アルプス剣岳にて。  
昭和39年2月  
厳しい訓練は山で死なないためにその後大いに役立った。

## 令和6年(2024年)谷山教会03月の予定と祝日表(03月01日～03月31日)

日 時			典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会	
1日	金	6:30	初金ミサ 10:00～十字架の道行き *性虐待被害者のための祈りと償いの日				
2日	土	19:00	四旬節第3主日のミサ	今月の行事当番班は8・9班です。	⑩	教会	
3日	日	6:30&9:00	四旬節第3主日		⑩		
4日	月	6:30	朝ミサ				
5日	火	6:30	朝ミサ				
6日	水	19:00	召命ミサ				
7日	木	6:30	朝ミサ				
8日	金	6:30	朝ミサ 10:00～十字架の道行き				
9日	土	19:00	四旬節第4主日のミサ			①	教会
10日	日	6:30&9:00	四旬節第4主日 役員会15:00～		①		
11日	月	6:30	朝ミサ				
12日	火	6:30	朝ミサ				
13日	水	19:00	召命ミサ				
14日	木	6:30	朝ミサ				
15日	金	祝日 6:30	聖クレメンس・マリア・ホフバウアー (レデンブートル会聖人) 朝ミサ 10:00～十字架の道行				
16日	土	19:00	四旬節第5主日のミサ 設営2・3班		②・③	教会	
17日	日	祝日 6:30&9:00	日本の信徒発見の聖母 四旬節第5主日	ミサ後司牧評議会 コミチウム13:30～	②・③		
18日	月	6:30	朝ミサ				
19日	火	祭日 6:30	聖ヨセフ 朝ミサ				
20日	水	19:00	召命ミサ	 春分の日			
21日	木	6:30	朝ミサ				
22日	金	6:30	朝ミサ 10:00～十字架の道行				
23日	土	19:00	受難の主日(枝の主日)のミサ		④	教会	
24日	日	6:30&9:00	受難の主日(枝の主日)	④			
25日	月	祭日 6:30	神のお告げ 朝ミサ				
26日	火	6:30	朝ミサ				
27日	水	19:00	召命ミサ				
28日	木	19:00	聖木曜日 主の晩餐/洗足式				
29日	金	19:00	聖金曜日 主の受難/十字架礼拝 (大斎・小斎)				
30日	土	19:00	復活徹夜祭/洗礼式 10:00～卵・ローソクの準備		⑤・⑪	教会	
31日	日	祭日 10:00	復活祭 復活の主日	⑤・⑪			

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00～	5, 12, 19, 26日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 13:30～	6, 13, 20, 27日
聖書と教理－Ⅱ	毎週金曜日 10:00～12:00	3月の講座はありません。

\*4/28(日)ミサ後信徒総会/会計報告と活動方針及び決算承認など

\*今年度の決算が3月末に行われます。ミサ献金・維持費の納入のご協力をお願いいたします。